

## 1 投票率向上に向けての取組みを問う

令和元年6月定例会議において投票率向上策について一般質問したが、直近の令和4年7月の参議院選挙での投票率は前回参議院選挙から6.93ポイント上昇し、その前年の令和3年衆議院選挙小選挙区でも前回比で2.47ポイント上昇している。

しかし、この投票率は有権者数全体からすれば、まだまだ対策を講じる必要がある数字である。町長はこの現状をどう認識されているのか、また選挙管理委員会と連携し、取り組まれた投票率向上の対策や今後考えられる対策はあるか。

## 2 自治体版マイナポイントの積極活用を問う

自治体がマイナンバーカードを活用し、キャッシュレス決済で使えるポイントを住民に付与できる仕組みが創設され、これはマイナポイント事業の自治体版で、ポイントを付与する事業や対象者の範囲など具体的な実施方法は各自治体が柔軟に設計できるものとなっている。

一例を挙げると、ボランティア活動や自治体イベントへの参加に対してのポイント付与、移住定住促進の支援金や子育て世帯への出産祝い金、交通弱者へのタクシー料金の補助金などをポイントとすることや、地域経済の消費喚起策として買い物額の一定割合をポイントとして付与することなどが可能となる。

本町でも、各課の施策の創意工夫で幅広い活用が見込めるとともに、マイナンバーカードの普及にもつながる取組みとなり、キャッシュレス化、デジタル化の推進に寄与する大きな可能性があることから、自治体版マイナポイント事業に積極的に取り組む考えについて問う。